

《書道分野》

科目	書道Ⅰ	単位数	2	区分	選択必履修
教科書・教材	教育出版 『書道Ⅰ』			配当 年次	1年次
授業のねらい・概要					
書写能力を高めるとともに、書の表現と鑑賞の能力を伸ばす。 ①古典を学習を通して基礎的な用筆や鑑賞能力を身につけよう。 ②感性豊かに自分の個性を生かした創造的な表現を楽しく展開しよう。					
授業の進め方					
教科書及び学習プリントにより、実技を中心に授業をすすめ、各課題で作品を制作する。					
		学習の内容		考查	時数
前期	4月	漢字仮名交じりの書		中間	17
	5月	・書写から書道へ、漢字と仮名の調和			
	6月	漢字の書（九成宮醜泉銘、孔子廟堂碑など）			
	7月	・篆刻（姓名印）			
	8月	くれき野祭に向けて作品作製（漢字仮名交じりの書）			
後期	9月	・行書		期末	18
	10月	・手紙の書き方			
	11月	・はがきの書き方			
	12月	・隸書			
	1月	・刻字（表札）			
2月	・仮名		期末	18	
評価の方法					
出席状況・学習態度・作品の作製などを総合的に評価する。					
備考					
「書道Ⅰ」・「音楽Ⅰ」の2科目から選択必履修。					

科目	書道Ⅱ	単位数	2	区分	選択
教科書・教材	教育出版 『書道Ⅱ』			配当 年次	2年次
授業のねらい・概要					
書の基本的な点画、線質の表し方、運筆の方法の習得や書道における表現と鑑賞の活動を通して書を愛好する心情を育てる。また書道史にも触れ、文字の成り立ちや書体の変遷を学習する。					
授業の進め方					
臨書を通して基本的な点画、線質の用筆を繰り返すことによって習得する。学習した楷書、行書の古典を題材とし習得した技法を生かして創作を行う。					
		学習の内容		考查	時数
前期	4月	漢字仮名交じりの書		中間	17
	5月	・表現方法・紙面構成・用具用材の工夫			
	6月	漢字の書（1）			
	7月	・楷書、行書の学習			
	8月	くれき野祭に向けて作品作製（刻字）			
後期	9月	漢字の書（2）		期末	18
	10月	・草書、篆書、隸書の学習			
	11月	実用の書			
	12月	・刻字			
	1月	・絵手紙等の作成			
2月	硬筆の学習（編筆・ボールペンの使い方）		期末	18	
評価の方法					
出席状況・学習態度・作品の作製などを総合的に評価する。					
備考					
「書道Ⅰ」を履修・修得済みのこと。					

科目	書道Ⅲ	単位数	2	区分	選択科目
教科書・教材	教育出版		配当年	3・4年次	
授業のねらい・概要					
書道Ⅰ・Ⅱで学んできた様々な書体をより深く学習すると共に、表現の可能性を探究する。また、今までの学習の中で興味関心のある分野の創作活動を通して自己表現を目指す。					
授業の進め方					
古典学習の復習や新たな古典学習をしたり、様々な表現を鑑賞する。また互いに鑑賞し合い意見を交わし合うことで互いを高め合っていく。					
		学習の内容		考査	時数
前期	4月	古典の学習		中間	17
	5月	・古典臨書(書体の変遷)			
	6月	古典を活かした創作			
	7月	・刻字(創作)		期末	18
	8月	・文化祭に向けて作品制作			
9月	拓本				
後期	10月	漢字仮名交じり書		中間	17
	11月	・校歌を書く			
	12月	・絵屋写真にあった言葉を書く		期末	18
	1月	仮名			
2月	・自分で作った俳句を散らし書き				
評価の方法					
出席状況・学習態度・作品の作製などを総合的に評価する。					
備考					
書道Ⅰ・Ⅱ修得者のみ。					